

第3学年A組 音楽科学習指導案

指導者 工藤 育子

1 題材名 絵画のイメージに合わせて音楽をつくろう

2 題材の目標

- (1) 音階の特徴及び音のつながり方の特徴について表したいイメージと関わらせて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。 《知識及び技能》
- (2) 旋律、音色、リズム、速度、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を受感しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫する。 《思考力、判断力、表現力等》
- (3) 旋律や音色、リズム、速度、強弱の違いによって生み出される雰囲気や表情などの変化に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作活動に取り組むとともに、音楽に対する感性を豊かにする。 《学びに向かう力、人間性等》

3 題材の学習到達目標

知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫することができる。

4 生徒と題材

- (1) 生徒について（男子15名 女子14名 計29名）
音楽の授業に意欲的に取り組み、特に歌唱や合唱などの表現活動に積極的である。しかし音楽から感じ取ったことや、どのように演奏するかについての思いを伝えることに対して消極的である。話し合い活動では、相手の考えを自分に取り入れ、お互いに高め合おうとすることができるため、協力し合って表現の創意工夫に取り組み、経験を重ねることで自信につなげていきたい。

第2学年では、料理を盛り付けたり食べたりする場面をイメージし、音の重なり方や、反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解するとともに、それらを生かしたまとまりのある創作表現を創意工夫してリズムアンサンブルをつくり、楽しんで演奏することができた。

その際には、「こんなリズムをつくりたい」と思っているにもかかわらず、楽譜に記すことや実際に演奏することが困難な生徒が多かった。楽譜作成や演奏への苦手意識を払拭できるよう、タブレット端末を用いることで簡単に再現することを体験させ、創作活動への意欲につなげていきたい。

- (2) 題材について

本題材は、中学校学習指導要領の第2学年及び第3学年の内容「A表現」（3）創作ア、イ（ア）、ウに関する題材である。

前題材では、作曲家ムソルグスキーが10枚の絵画作品をもとに作曲した「展覧会の絵」を鑑賞した。ムソルグスキーは絵画作品から抱いたイメージと旋律、音色、リズム、速度、強弱などを関わらせて楽曲をつくっている。本題材では、ムソルグスキーと同じように、美術の時間に描いた「自分を絵で表現しよう」の絵画のイメージと、旋律、音色、リズム、速度、強弱を関わらせて音楽を創作する。

考えられる創意工夫として、次のようなものが考えられる。ムソルグスキーは「キーウの大きな門」という絵画作品を見て壮大なイメージを抱き、その様子を、速度は遅め、強弱は強く、リズムは大らかなものを多用し、音楽で表現した。生徒は、その鑑賞経験を生かし、壮大さを感じたものには同じような工夫をすることが考えられる。

前年度までの学習は以下の通りである。

学年	題材名	主な音楽を形づくっている要素
第1学年	構成を工夫して、3つの場面の音楽をつくろう。	音色、テクスチャ、強弱、構成
第2学年	言葉によるリズムアンサンブルをつくろう。	リズム、テクスチャ、構成、強弱、速度

- (3) 指導について

本校の研究主題である「ICTを活用した『主体的・対話的で深い学び』につながる授業づくり」の実現に向け、本題材では、音楽学習プラットフォーム「Flat for education」を使用する。

全体を通して、自分で制作した絵画のイメージを手掛かりにし、旋律、音色、リズム、速度、強弱を創意工夫をしながら音楽をつくることを目指す。主体的に工夫したり友達と協力したりしながら、「考える→試す（聴く）→考える→…」といった思考・判断・表現する学習の充実を図っていく。そして、旋律や音色、リズム、速度、強弱を、絵画のイメージを根拠にして説明する場を設定する。このような学習場面を通して、音楽表現のよさや面白さを感じ取らせるとともに、体験的に音楽の構造を学ばせ、理解を深めさせたい。

第1時では、絵画から音楽のイメージを膨らませる。絵画の「明るい」「暗い」等のイメージから、長調、短調の伴奏楽譜をそれぞれ選ぶ。旋律づくりは、和音の中から主となる音を選ばないとまとまりのある音楽にならないことを体験させ、創作に取りかからせたい。リ

リズム創作は、記譜を困難とする生徒も多くいるため、複数のリズムパターンから選択できるようにする。

第2時では、音色（楽器）や速度、強弱を自分のイメージに合わせて設定していく。つくったらすぐにタブレット端末で聴いて確かめられるようにする。

第3時（本時）では、グループや全体で互いの音楽を聴きアドバイスをし合い、改善を図る。根拠となる絵画のイメージを大切にしながら、自分の音楽を変化させて理想の表現につなげられるようにしたい。

第4時は、一人一人が作品を紹介し、評価し合う場面を設定する。
全体を通して、イメージを根拠にして説明する場面を設定し、言葉による説明も学習の支えとしていく。また、中間発表やまとめの発表を行い、感想を交換し合うなど互いの作品のよさを共有し、改善を加えながら学習を発展させていく。

5 題材の指導と評価の計画 （総時数 4 時間 本時 3 / 4）

時	学習活動	具体的評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	・自分の絵画からイメージを膨らませて旋律をつくる。	○創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。		○旋律や音色、リズム、速度、強弱の違いによって生み出される雰囲気の変化に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
2	・イメージに合わせて速度、音色強弱を工夫する。		○音色や速度、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	
3 (本時)	・友達と話し合って、よりイメージに近づけられるようにアレンジする。		○旋律や音色、リズム、速度、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、創作表現を創意工夫している。	
4	・「3A 展覧会の絵」発表会で互いにつくった音楽を鑑賞し合う。	○創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。		

6 本時の計画（3／4）

(1) ねらい

絵画のイメージと、旋律、音色、リズム、速度、強弱の変化が生み出す特質や雰囲気に関わらせた音楽をつくるにはどのようにすればよいか考え、創作表現を創意工夫することができる。
《思考・判断・表現》

(2) 学習過程

	学習活動	学習課題	ICT	学習形態	指導上の留意点と評価	評価
導入	1	前時を振り返る。	電子黒板	全体	・本時の課題をつかむことができるように、前時の振り返りを全体で共有する。	
	2	学習課題をつかみ、見通しをもつ。	電子黒板	全体	・本時の見通しをもてるように、例を挙げて本時の活動を説明する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">よりイメージに近づけるには、どのようにアレンジしたらよいだろうか。</div>						
展開	3	小グループで紹介し、アドバイスし合う。	タブレット	小グループ	・互いの音楽を聴いて話し合えるように、グループごとの話合いの場を設定する。 ・作者の絵画に対するイメージや思いを大切にできるように、話合いの場に絵画を掲示する。	
	4	アレンジしながら、作品をまとめる。	タブレット	個人	・リズムを考えることが困難な生徒には、参考となるリズムを示す。 ・創作の参考になるように、前題材「展覧会の絵」の鑑賞の学習の足跡を掲示しておく。 ・アレンジを言葉でまとめられるように、ワークシートを配付する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> もっと〇〇な感じが伝わるように 音楽の素*を□□にした。 </div>
	5	全体場で発表し、作品や考えを共有する。	電子黒板	全体	・全体で考えを練って深められるように、完成したものだけではなく、迷っている段階のものも取り上げる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 絵画のイメージに合った旋律をつくるにはどのようにすればよいか考え、創作表現を創意工夫している。 (発表、観察、Flat、ワークシート) </div>
終末	6	本時の学習を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> (例) 〇〇さんの音楽を聴いて、春のような暖かな雰囲気を出すには、速度を遅めにすると効果的だと思った。 </div>	タブレット	個人全体	・自分の作品だけではなく、友達作品に触れたことで深まったり広がったりした考えを踏まえ、Teamsで振り返りをよう指示する。	

*本時では、「音楽を形づくっている要素」を「音楽の素」とする。